様式 10 ＜(公財)ひょうご環境創造協会 ホームページ原稿用＞

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団 体 名	兵庫県立豊岡総合高等学校 インターアクトクラブ		
団体の所在地	(市区までで可) 兵庫県豊岡市加広町 6-68	代表者名	岩本 敏浩

1. 事業名	稲作を通じての自然体験活動
2.実施期間	平成29年4月 27 日～30 年1月 27 日
3.主な実施場所	兵庫県豊岡市下宮 インターアクト米圃場
4.活動形態	・団体立ち上げ ・普及啓発活動 (実践活動) (・調査活動) ・環境パートナーシップ事業 (協働団体名:) ・その他( )
5.活動内容・結果(参加者、階層・人数等)	①田植え 5 月 7 日。65 名高校生、地域住民、豊岡在住外国人などの参加者)。 ②アイガモ放鳥 5 月 26 日 参加者 11 名 ③環境活動 4～10 月。参加者6～9名 ④稲刈り 9 月 10 日。76 名の高校生、地域住民、豊岡在住外国人などの参加。 ⑤収穫祭 10 月 9 日。75 名の高校生、地域住民、豊岡在住外国人などの参加。 ⑥発送 宮城、熊本 10 月 10 日 宮城県気仙沼向洋高校、(有)ヤマユ佐勇水産、明神社、コバルトーレ女川や木山仮設団地などに支援米として送る。 ⑦発表 1 月 27 日 観衆約 100 名 「高校生によるラムサール湿地の調査保全活動発表会」の参加。生徒による報告発表に参加。
6.成果・反響・反省点等	NPO コウノトリ市民研究所長などの講師を迎え、圃場での生物調査、観察を行った。収穫後の圃場での環境調査も生き物調査を通じて、環境の知識と理解を含めることができ、参加者同士の関係も強い絆となり、高校生の社会貢献活動への興味も向上させることができた。 生物調査より、農薬や有機材などが使用されていると絶対に発生しない生物、植物が圃場や畔に生息していることが判明した。 稲作については、二酸化炭素削減に貢献をした。獣害対策は防獣柵を用て、その効果も顕著であった。年々参加者が増えている。都会の高校生から非常に興味関心の強い事業となり参加者が増えている。この事業を実施することで時代を担う高校生たちに地域の自然や産業への興味を育むとともに、地域内外での高校生の交流を促進していくことができた。地域の小学生などにも参加して交流を図るとともに、海外からの短期留学生や豊岡在住の外国人が参加することで日本の自然の農法を体験し、国際交流も図ることができた。
7.成果物	米 600kg の収穫。新聞掲載。TV 放映。感想文集。
8.活動写真 説明 (20 字以内)	学校ホームページ http://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/toyookasogo-hs/